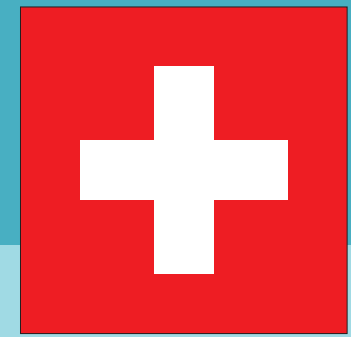




世界の“NOW”を探る現地探訪〈2024年8月取材〉

スイスの自然と産業



美しい自然に囲まれた「スイス連邦」。そこには、厳しい自然条件や国際関係の下で、生き抜いてきた人々の姿がありました。



酪農家のチーズ工房



ユングフラウの山々と登山鉄道

1 Jungfrau ユングフラウ 「アルプス山脈」の名峰と氷河 貴重な自然遺産が消滅の危機？

観光はスイスの重要な産業の一つです。アルプス最大のアレッチ氷河があるユングフラウをはじめ、アルプスには鉄道網が張り巡らされており、カラフルな高原列車が世界中から訪れる観光客を運んでいます。



▲ヨーロッパ最高標高の駅(3454m)に隣接するユングフラウヨッホの展望台。氷河ツアーが楽しめる。



ゴルナー氷河でみられる氷河地形

アルプスの氷河は今世紀中に消滅？ 地球温暖化の影響でアルプスの氷河は、厚さにして年間約1mも溶けています。このままだと、今世紀中に大半の氷河が消滅するという研究も発表されています。



1999年 ゴルナー氷河の変化▶



2024年

(写真:アフロ)



電気タクシー

▲スイスは環境保護の先進国。マッターホルン山の麓の町ツェルマットでは1960年代からガソリン車の乗り入れが禁止されています。



『新詳高等地図.jp.56より

スイス連邦の基本情報

スイスの面積は九州より少し小さい4.1万km²。

大半が山岳地帯なので人口は少なく881万ほどだ。

首都ベルンは標高500m以上の高地にあり、年平均気温は7.8℃。西洋海洋性気候(Cfb)に区分されている。

スイスの時計職人



チーズ熟成室

2 Langnau ラングナウ スイスの「山岳酪農」の今 伝統的な酪農が行われている理由とは？

スイスでは冷涼な気候を生かした酪農、特にチーズ作りが盛ん。取材した家族経営のチーズ工房では、手作りしたチーズをマーケットで販売。常連の客に愛されています。



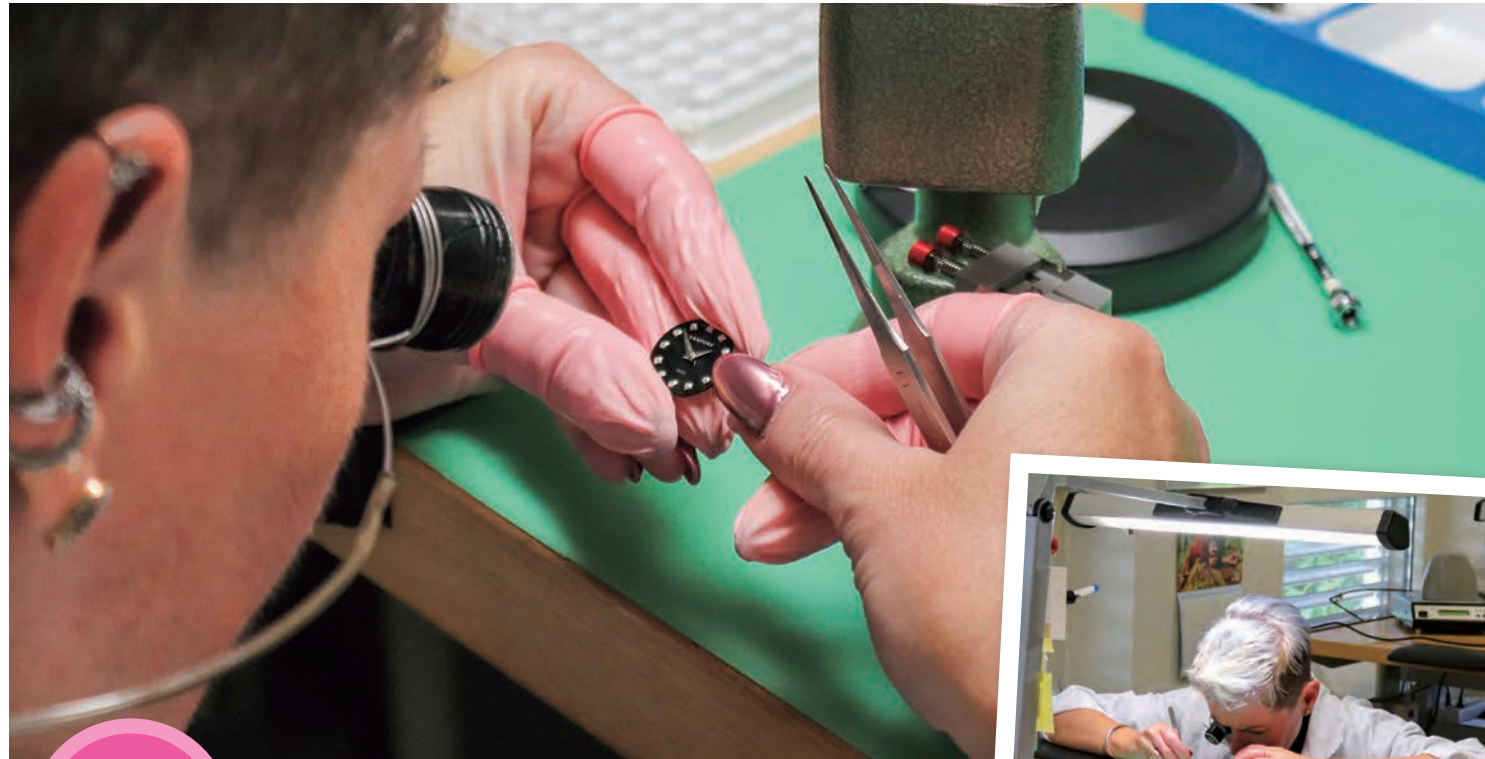
Quiz 下の写真にあるような大きなチーズを作るには、何Lの生乳が使われている？

下の写真にある大きさのチーズを作るために、140Lの生乳が使われています。大鍋に生乳と酵母菌を入れて1日寝かし、発酵させます。まだで火を起こして1時間、約50℃に温めていきます。できたチーズは6か月熟成した後、出荷されます。



アルプスで行われている伝統的な「移牧」

国土の約70%が山岳地帯であるスイスは、耕作に適した土地が少なく、昔から季節に合わせて標高の異なる土地で牛を飼う「移牧」が行われています。夏は山の牧草地で放牧し、冬は麓の牛舎で飼育する方式です。



3 Biel ビール近郊 挑戦を続ける「時計産業」 何度も危機を乗り越えてきた時計産業が直面する課題とは？

宝飾時計の工房

スイス伝統の時計産業は、長い歴史の中で何度もピンチを乗り越えてきました。19世紀にはアメリカの大量生産工場と、20世紀には日本の安価なクォーツ時計との競争を経験しています。そして現在は、スマートフォンの普及による、世界的な腕時計離れへの対応が課題となっています。



クレディ・スイス本店 (チューリヒ)

4 Zürich チューリヒ 世界有数の富裕国を支える「金融業」 1人あたり国民総所得(GNI)世界上位が保てる理由とは？

スイスの金融業は、世界各国の富裕層を顧客とするプライベートバンクがたくさんあることで有名です。富裕層の資産管理で数百年もの経験を有するスイスの金融業界は、世界の金融センターとして、今日も大きな存在感を示しています。



(写真:PIXTA)

Quiz スイスのビッグマックのお値段っていくらなの？
スイスを訪れた日本人が痛感するのは、物価の高さでしょう。スイスは給与水準が非常に高く、それに伴い物価も高い傾向があります。スイスのビッグマック価格は世界一高い1,235円です！

2025年1月版 世界の「ビッグマック」指数	
1位 スイス	1,235円
2位 アルゼンチン	1,073円
3位 ウルグアイ	1,067円
7位 アメリカ合衆国	894円
42位 中国	543円
44位 日本	480円

出典:The Economist "The Big Mac Index" February 1st 2025.(1ドル=154.35円として算出)